

市民スタッフ (G-free) 紹介

◆◆ 長縄 夢守子 ◆◆



友人が自主上映したい映画があるとゆうので上映方法捜していたとき、アジア映画祭にたどりつきました。その作品「アフガン零年」が映画祭の上映作品に選ばれていたのです。ぜひ多くの人に見てもらいたいと思い、市民スタッフとなって、活動をスタートしました。現在、仕事の都合で会議にはなかなか出られませんが、自主事業や映画祭の当日のスタッフとして来場された方々が気持ちよく時間を過ごしてもらえるような雰囲気づくりを心がけています。そして「楽しかったよ!」、「よかったよ!」と帰りに声をかけてくださると、とても嬉しいです。これからも自分自身も楽しみながら、企画から関わっていけたらいいと思っています。

◆◆ 諸橋 幸彦 ◆◆



私と映画との出会いは、町内の公民館で上映された『怪獣島の決戦 ゴジラの息子』でした。子供たちでぎゅうぎゅう詰め公民館で、前の子の頭を避けながら必死になってスクリーンを覗き込んでいました。高校生・大学生になると、柳ヶ瀬や駅前の映画館へ通うようになりました。岐阜の映画館では、アメリカやフランスの映画を見ることはできましたがその他の国の映画を見る機会はありませんでした。そんなとき、「黄色い大地」という中国映画を市民会館で見たのがアジア映画との出会いでした。まさかその後、市民スタッフとして「ぎふアジア映画祭」に関わらせていただくことになるとは思っていませんでした。最近では、岐阜の皆さんに紹介する映画を探そうと、少し足を伸ばして映画館巡りをしています。自分の目で映画を選ぶことは難しいと痛感しています。いつか一押し映画を選定会議に出したいものです。

岐阜市民会館、岐阜市文化センターで、活動する文化ボランティアを募集しています。

市民スタッフ「G-free」募集!!

- * 市民会館・文化センター主催事業の補助 (受付や案内等)
- * 文化事業の新規企画
- * ぎふアジア映画祭の運営 (作品選定・企画・広報(HPなど)等)
- * カメラ・ビデオなどの記録撮影
- * イラストの作成(活動誌など)

岐阜市文化センター TEL: 058-262-6200



「ジブリコンサート」でフロントスタッフのお手伝いをしました。井上あずみさん・木村弓さん・二階堂和美さんと

岐阜市民会館

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地
TEL 058-262-8111 FAX 058-262-8114
<http://gifu-civic.info>

岐阜市文化センター

〒500-8842 岐阜市金町5丁目7番地2
TEL 058-262-6200 FAX 058-262-6229
<http://gifu-culture.info>



第15号

岐阜市民会館・岐阜市文化センター 市民スタッフ活動報告誌



G-free

第15号

平成28年3月31日



平成28年3月31日



第37回 きんアジア映画祭

平成27年10月31日(土) ~ 12月6日(日)



鳥の道を越えて オープニングは…ゲスト今井 友樹 監督

2015年2月、キネマ旬報映画ベストワン作品上映&表彰式に出かけた。文化映画第1位作品「鳥の道を越えて」を初めて観て感動した。表彰式は綾野剛さん、安藤サクラさんなどと共に緊張した今井友樹監督の姿があった。今井監督の故郷は、岐阜県東白川村。同じ岐阜県民として、とてもうれしかった。興奮覚めやらぬ中、終了後ロビーで今井監督を見つけ、思わず「岐阜県から来ました。もうすぐ岐阜で上映されますね」と声をかけた。ぜひ今井監督のお話を聴きたいと思い、岐阜アジア映画祭の作品に推薦した。今井監督そして撮影の澤幡さんのトークが実現し、様々なお話が聴け大満足。多くのお客さまも映画&トークに来てくれうれしかった。(市民スタッフ 山田 祥子)



野っぴななっぴか ファイナルは…ゲスト 大林 宣彦 監督

命も時も出来事も、みんな繋がっている。不思議な物語はスタッフ内でも賛否両論。大林監督に来ていただけるのなら、と選んだ一本。当日は沢山のお客さん。みんな監督の話が聞きたいんだ。鑑賞後、涙ボロボロに感動する私の後ろでは、映画に対する不満の声が。鑑賞してくれたお客さんの感想もやっぱり賛否両論。握手会の時、「この映画、分からないでしょう？僕も8回見てやっと分かったんですよ。」と監督に言われた時はホントにビックリ。自分でも分からないと言いつつ、一つの映像作品に仕上げた大林監督の天才ぶりを示すエピソードなのでした。(市民スタッフ 田中 なぎさ)



日本野鳥の会さん協力のもと野鳥の写真展示



今井監督、野鳥の会の太田さん家族と



大林宣彦監督と皆で手話で「I LOVE YOU」で写真を撮りました!!

『女神は二度微笑む』特別企画 インド文化講座 「インド映画の楽しみ方」講師 高倉嘉男 氏をお迎えしました!!

「ムトゥ踊るマハラジャ」が日本中を席巻した第1次インド映画ブームのち、しばらくの休眠期間を経て、「きつとうまくいく」「女神は二度微笑む」など、今第2次インド映画ブームがやって来ている。「なぜ今インド映画なのか」「インド映画とは」「インド映画はひとつではない」などなど様々な切り口からインド映画を分析し、そのディープな楽しみ方を教えていただいた。誰もが一度は思ったことがあるであろう「インド映画ではなぜ『突然』踊り出すのか」という疑問。その答えは、人物設定や状況設定、登場人物の感情の高まり、婉曲表現が必要な場面、息抜きなど、物語の進行に必要なものであるとのこと。映画の質に貢献しているものであり、決して「突然」ではない。また、インド映画はエモーションを楽しむべし。恋愛、喜笑、悲哀、驚嘆など様々な人の心の動きが脳を刺激することで芸術的エクスタシーを感じる。これこそがインド映画の醍醐味だ。インド映画は劇場で！ブームで終わらせない！という思いを強くしたあつという間の1時間であった。(市民スタッフ 諸橋 幸彦)



「イン・ファンアラフエ7」では協力アジアティーハウスさん



「KANO」台湾の制作会社より監督のサインボール

市民スタッフ事業に参加して

私にとってこの市民スタッフ事業は緊張する。なぜなら、毎年各種のボランティア・趣味の会・同窓生・地域等の顔見知りの方が十名以上が来場する。来場するだけならいいが、そのうちの数名からは「今年は・・・」「こんな催し・・・」とアンケートに記入してくれればいいものを、親切に声をかけてくれ直に反応が得られるからである。特に、今年はどうしたことか舞台挨拶(?)まで。創作がらみ・コーラスの発表会・第九の演奏会で舞台は慣れているつもりであるが、千人近い人を前に話すことは別であり「緊張」が二乗であった。微力であるが来場した知人から「今年の企画は良かったね!!」と言われる企画づくりに努めたい。(市民スタッフ 中村 三郎)



6日:成田 春華 先生



7日:長岡 治生 先生
司会(2日間共):三条 志郎 さん

川端康成 ゆかりの『恋の散歩道』を市民スタッフが撮影&編集し上映しました!!



ホテルパークで撮影&インタビュー



撮影する西川さん

今回は川端康成氏と岐阜との関わりについて川端氏ゆかりの『恋の散歩道』を訪ねて映像を制作しました。撮影、編集も市民スタッフで行いました。私たちはこのような映像制作は不慣れで、市民会館職員の方の力も借り、撮影後にナレーションを考えるとこの荒業でなんとか出来上がりました。観客の反応が気になりましたが、アンケートでも「分かりやすい」と好評をいただき、ホッとしました。出演していただきました瀬古写真館の社長はじめ、撮影、編集の西川さん(市民スタッフ)のお力あってこそ感謝しています。(市民スタッフ 坂口 佳子)



竹井津軽三味線のみなさん

岐阜総合学園高校 吟詠剣詩舞部のみなさん

松浦 百花 さん

2020年東京オリンピックに向け、若いメダリスト候補者の発掘のための様々な強化策がとられています。各種目でのメダル獲得者が無名の若いアスリートを独自の経験からの指導するテレビ番組をよく目にします。市民スタッフで毎年実施している「映画上映&うたごえ広場」のプレ企画に代わるものとして「チャレンジ企画」「がんばれ若鮎」も将来活躍するであろう岐阜の若い舞台芸術家の発掘を目的として第1回を昨年12月文化センターで実施されました。はつらつとした岐阜市内の高校生による詩舞、迫力ある竹井津軽三味線は来場者に感動を与えるに十分なものでした。ラジオ放送や新聞記事で紹介していただいた割には、来場者の数には若干の物足りなさはありましたが、企画から実施まで担当させていただいた充実感と演技後の若い出演者との懇談での皆さんの満足度が、今後の第2回以降の「チャレンジ企画」につながっていくのではと確信しています。(市民スタッフ 井本 孝)

市民スタッフ研修 ① 歌舞伎セミナー 講師: 葛西 聖司さん (アナウンサー・古典芸能解説者)

歌舞伎のお手伝いをするのに、あまりにも歌舞伎を知らな過ぎるから、勉強する機会が欲しいという、市民スタッフの意見により、葛西聖司氏をお招きしお話を聞くことになりました。葛西氏はNHKのアナウンサーだっただけあり、おしゃべりは、とてもお上手で、受講者達を対面に座らせ、その間を歩きながら、講演するという斬新なスタイルで始まりました。上演する歌舞伎の見所等を解りやすくお話しされ、これを聞かないでみたら、私達、素人には解らないまま、幕が降りたことでしょう。歌舞伎は約束事やお話を良くわかった上で観てこそ、面白いものだと思います。今後このような機会があったらいいと思います。(市民スタッフ 大江 茂美)



平成27年8月26日 市民会館 会議室80にて

市民スタッフ研修 ② 武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)へ研修に行ってきました!!

平成28年2月21日(日)愛知県武豊町にある「ゆめたろうプラザ」に行ってきました。「ゆめたろうプラザ」は、武豊町の町民会館で、武豊町、NPO法人たけとよ、ボランティアスタッフ「ゆめプラススタッフ」の会員で企画・運営されています。今回私達G-free6名と事務局2名の計8名とNPO法人たけとよ事務局4名と交流会を開催しました。特に印象に残った点をいくつか挙げます。①ゆめたろうプラザの企画のその範囲は、映画・音楽・演劇・展示等非常に多岐に亘っています。②2011年に町民参画で制作した「小惑星探査機はやぶさ」の実物大模型を再度展示し、非常に好評を博したそうです。③会館設備も立派でした。特に、「輝きホール」と「響きホール」の2つの施設に加え、「創作工房」「情報考房」「練習室」等を備えています。情報交換が多岐にわたり、予定時間を30分を超えてしまいました。物凄く頑張っているなと感心するとともに、自分も今以上に参画しなければと強く思った体験でした。(市民スタッフ 赤塚 昭彦)



NPO法人たけとよのみなさんと はやぶさ